

令和4年度活動及び事業報告

1. 活動報告概要

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症が前年度に引き続き発生し、地区社協の活動にも影響が出ました。こうした中で、平成4年に設立された緑園地区社協は、令和4年度において30周年を迎えました。コロナ禍ではありましたが緑園地区社協は3つの記念事業を計画し予定通り実施する事が出来ました。3つの記念事業とは、3世代交流の場「福祉ふれあい祭り」、子育て支援「キッズフェスティバル」、そして記念誌「30年のあゆみ」の編纂です。

緑園地区社協が、こうした記念事業に取り組み、完成する事が出来ましたのも、関係各種団体のご協力があった為ですが、こうした各種団体の活動におきましても、コロナ感染防止策を全面的に実施しながら、正常化に向けて取り組んでいます。

2. 総会及び定例会

令和4年度第30回総会は、定例会の開催日5月13日（金）に日程を変更し地域交流センターにおいて開催しました。会場は多目的ホールで行い、第1号～6号議案が提案通り承認されました。

また、定例会は、総会開催の5月を除き、交流センター多目的ホールで開催した結果、コロナで中止することなく予定通り開催できました。

3. 令和4年度重点取組事業

◆地域交流事業（ふれあいチャリティフェスティバル・室内ゲーム大会・福祉ふれあい祭り等）

地域住民の交流ふれあいの場として毎年継続実施して参りました第18回ふれあいチャリティフェスティバル、第12回室内ゲーム大会は、新型コロナ第7波の感染防止対策で中止の状況に追い込まれました。一方、30周年記念事業として「第23回福祉ふれあい祭り」を緑園地域交流センター及びひかりの園周辺で万全のコロナ感染防止策と規模を縮小して開催し、約1,100名の参加がありました。

◆子どもと高齢者（キッズフェスティバル・小学生見守り活動・居場所づくり等）

子育て関係団体との協働による第6回キッズフェスティバルは30周年記念事業として開催しました。「緑園地区子育て支援協議会」を中心として保育園の皆様の協力と緑園学園の後期課程の12名の支援があり、緑園東公園で運動会形式で開催し、約500名の参加で盛況に終わりました。小学生の見守り活動は、7月より活性化委員会の「小学生見守り事業部」の所属となり、9月と3月に「見守り会議」を開催し子どもたちの安全を図るべく情報共有を図りました。

◆健康づくりと予防（高齢者食事会・健康体操・軽スポーツ開催等）

第4期福祉保健計画の重点事業である「ふれあい健康づくり委員会」を中心に、各自治会と連携して、公園でのラジオ体操が7つの自治会で開催を開始しました。「さくらカフェ緑園」も、コロナ対策をしながらの開催ができました。RSC主催の健康体操・ヨガ等健康づくりの支援も実施しました。

◆支えあいと助け合い（研修会・障がい支援活動・認知症サポーター育成・施設訪問）

第4期福祉保健計画研修会は、8月は中止となりましたが、令和5年2月に「高齢者化社会における施設選びの基本」をテーマとして、講師に、希望苑の福島施設長と住まいの相談センターの甘粕氏のお二人をお招きし、講演を頂きました。

4. 広報活動

広報活動は、随時更新のFacebookと2ヶ月1回発行の「地区社協だより緑園」で広く情報を公開してきました。また「広報委員会」はZoomにより開催し、情報の共有化を図りました。区役所で行われた「わくわくプラン」推進事業では、パネル展示に出展、第36回泉区福祉大会では、中川・新橋地区とともに、第4期福祉保健計画の取り組みを発表しました。

5. 共同募金・賛助会費・募金

日赤募金・共同募金・賛助会費は地域住民より多大な善意が寄せられ、緑園地区の今までの最高の賛助会費となりました。又泉区社会福祉大会では「金品寄贈功労」として受賞しました。